

本号の主な内容
2・3面歴史をつくる若人の船出。マルガリータ号ロサンゼルスへ
4面 岩戸景気の再来か、法人企業は五期連続の増益
5面 今週の世界
6面 ソ連の文学整風と言論の自由
7面 七億の反逆、コンフィデンシャル
8面 1970年への道
9面 真珠の河から流れだした凶殺死体
10面 ミード・ザ・ブレス、社説、バックワード

暮らしの向上に 企業の発展に
お近くの《サンワ》をご利用ください

みなさまのお役に立つ
三和銀行

眞実の追求
国際的ビジョン
正義と平和

[毎週日曜日発行]

THE TOKYO OBSERVER

オフザーバー

©発行所 大森国際問題研究所
東京オブザーバー
東京都台東区池之端2-1-39 ディーエスビル
電話代表東京 (822) 1535 振替番号東京66855

編集発行人
大森 実

発行部数
148,500部

7月7日-7月13日

海がこわいなんて いうやつはだれだ



「太平洋大学」希望の船出 世界に対話を、八百人の若人

抜けに明るい別れた。
百年前に、成駒男が太洋洋渡った。ヨシノダの書
日本を世界の舞台に出した。
一世纪をたてていま、八百の若者が、世界に対話
手をあわして、世界に對話を。
世界はまみだらちのもの。
がんばれ、マジックの若者たち。

照り輝く東の太陽のままで、底をもたらし手なるとして船出する。
世界はまみだらちのもの。
がんばれ、マジックの若者たち。

【一面について】

若い日本の船出
ヨーロッパ、北米、南米、オーストラリア、アフリカ、南極、東洋、南洋、世界の諸島をめぐる船出
世界はまみだらちのもの。
がんばれ、マジックの若者たち。

太平洋は世界一家の海の曲。

世界はまみだらちのもの。

みんな笑つて、やつはだれだ。

五彩のテープが、虹ひろがる。

みんなが笑つて、やつはだれだ。

世界はまみだらちのもの。

がんばれ、マジックの若者たち。

夜ふけの歌
田宮虎彦
人間の運命 第1部 夜明け
芦沢光治良 書下ろし 大河小説
輝ける闇 開高健

新潮社の本
※新刊 取扱え 発売中

著者 東京六八書店
新潮社

海市
燃えつきた地図
安部公房 純文学書下ろし特別作品
福水武彦 特別作品
不思のとき 有吉佐和子
私美の世界 森茉莉
開高健

輝ける闇 開高健
人間の運命 第1部 夜明け
芦沢光治良 書下ろし 大河小説
輝ける闇 開高健

月影庵十一代 柴田錬三郎
金環蝕 問題長編

大数学者 新潮選書 小堀憲
徳川浪人伝 時代長編 柴田錬三郎

月影庵十一代 柴田錬三郎
金環蝕 問題長編

月影庵十一代 柴田錬三郎
金環蝕 問題長編

大数学者 新潮選書 小堀憲
徳川浪人伝 時代長編 柴田錬三郎

月影庵十一代 柴田錬三郎
金環蝕 問題長編

若人の船出

マルガリータ号一路ロサンゼルスへ

あふれる明るい笑顔

国際色も豊かに出航式



出航式であいさつする勝井理恵さん

「前夜祭」も盛大に なごやかな「海のムード」

愛犬専科

文春実用百本



直臣・会心の近作推理小説！

松本清張



大文字焼の夜、京都のホテルから消えた不倫の人妻！ その時、洋上を走っていた怪しい男。謎に挑む刑事

新刊 320円



私たちC・Qは『輪番制の幹事』。わがマルガリータ号を自主的に運営するのも大切な任務



「国際人になって帰ってきます！」東京の和氣率博君(18)が代表して元気に宣誓

pbポケット文春

浴槽の中のワシ 野生のエルザ
ボーリングのすべて 矢島純一
囲碁入門 林 海峯著 480円
将棋入門 原田 泰大著 400円
音楽レッスンガイド 服部公一

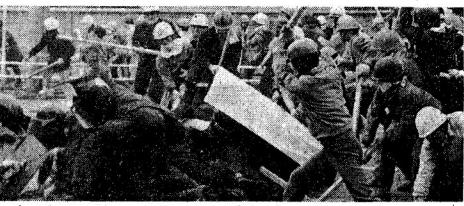
長谷義夫 水野都司 新刊 450円
著者は大手配達、該案するに共に三年の権利

文藝春秋刊

第9回配本 発売中！
文藝春秋刊名480円

生活の本 9科学者の日

青年の汚名 大江健三郎
日常生活の冒險 大江健三郎
青春の墓標 奥浩平
バルタタイ 倉橋由美子
されどわらが日々一 柴田 翔
解説 北杜夫



善の研究

山口瞳 新刊 450円

世界の動きとともに大きく変貌しているアメリカ、中国ソ連ベトナムの現状を豊富な事例で浮彫りにし、日本のるべき道の大切さを強調した興味ある提言集

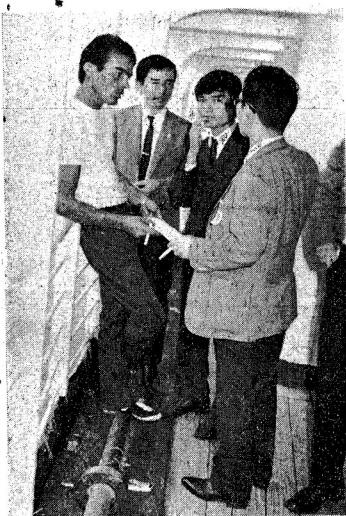
猪木正道 新刊 470円

トリックや欲求にみちたビジネスと男女関係。その中で、善意から男らしく振舞おうとする男たちに繋がる意外なつなげ返し

歴史の転換点



七色のテープがしだいにはりつめて、船は岸壁を離れる。この日テープの充上は5000本と晴海埠頭はじまって以来の最高記録をマークした。



乗船すると、さっそくギリシャ人の船員をつかまえて会話を練習



タイのパトナワディ・ポンサイアン婦と歓談する受講生



前夜祭で米人情誌から花束を受ける大宅社一名曾学



出航直前の船内で、フジテレビ「ビジョン」討論会・日本人は国際人たるうるかのビデオとり

歴史をつくる



前夜祭で米人情誌から花束を受ける大宅社一名曾学



出航直前の船内で、フジテレビ「ビジョン」討論会・日本人は国際人たるうるかのビデオとり

マルガリータ号にて四日、本社特派員団発

解説
「太平洋大学力」など。
太平洋大学は胸を張った
ものだ。その間に太平洋大学
といふ意味をもつておらず
いたまでもある。

大森 聰

盛上がる真剣な意欲 二十世紀初の壮挙

長森
學

第1回太平洋大学スケジュール	
7月 15日	ロサンゼルス入港。
16日～18日	デズモンド・ルード、ハリウッド、ロードード航空空港など見学。 カリヨンルニーナー大学訪問、同大学と討論会。
19日	米國者との特別講演会(毎日セッション)ロサンゼルス市長、バッブ・ブラングらが出席。
20日	ロサンゼルス出版ホノルル入港。ハワイ大学訪問、同大学生と交歓セミナー、ハイイップブルー、真珠島、ワイキキを見学。 ホノルル市長東京港開港式(第2組は8月10日出港の予定)
21日	ロサンゼルス出版
27日	ホノルル入港。ハワイ大学訪問、同大学生と交歓セミナー、ハイイップブルー、真珠島、ワイキキを見学。 ホノルル市長東京港開港式(第2組は8月10日出港の予定)
8月 6日	東京港開港式



私は『潮』別冊号に期待しています
<写真=50音順>



座談会
J.K.ガルブレイス
蠶山道雄
坂本二郎
宮崎 勇

イデオロギーの相克を越えて

最近「新企業国家論」を著し反対を呼んでいるガラブレイスは、中国化といわれているが、その実態は、何であるのか?

日本の中の中国コンセンサス

私の中国認識――日中関係の現状と将来――
山本進／岡本喜八／武山泰雄／大宅社一／
竹内実／猪方彰／星野芳郎／江幡清／
岡崎靖平／白石凡

■特別調査／現代政治研究会
五大政党の中国政策を検討する
佐藤政権の対中国姿勢を追う

革命と大衆をどうとらえるか
花田清輝／武田泰淳／司馬選太郎

毛沢東の世界戦略とベトナム・柴田 穂
『人民戦争論』と核戦力／東 鴻之
中国と解放戦線との関係／安田 錦
革命精神はどう受け継がれたか／藤島宇内

■立体構成2
米中の中国コンセンサス

アメリカにおける中国研究の現状／江頭数馬
ジョンソンの計算と誤算／仲 畏
アメリカ大統領候補の中国政策／日高義木

■開拓前会議(運営委員会)有馬耕義
創作「東のないサークル」井川義

日中関係の新しい展開のために

「トナム以後の対中政策は、第一森恭三
的現存の立ち場から検討すべきである」と

中国の孤立と米国の孤立主義

「異質な側面と『純粋性』を比較検討する」武者小路公秀

社会主義の将来と言論の自由

「社会主義の運営を論じる立場をもつてゐるのは如何である」と辻村明

現代中国をどう見るか

「巨大的な中国の驚くべき『文明の実験』の将来」梅原猛

米中接触の内幕を公開する

特別寄稿「敵対的な立場ながら秘密裏に往来する両国間の問題」K・ヤング

「ヤング氏にインタビュー アメリカのアジア政策はどう変るか

『巻頭言』軽率のいましめ／吉川幸次郎

「社会主義圏の分解と中ソ対立」蠶山芳郎

「現代世界における中国の地位」小瀬操

「外交路線にも從事の柔軟な基盤があられるか

中国交回復とその後のビジョン

「今や日本同國の國交が正常化された場合の本橋渥／新井宝雄

が確実化することは決して『想像』ではない

日本は果して誰の友か

日米中の歴史的展望ウォルターラフエバー



別冊 潮
日本の将来
夏季号/150円
株式会社潮出版社

ベトナム以後世界最大の課題/その全貌を見る
中国問題総特集

白紙にできない選挙用公約

基地問題 日米関係に微妙なズレ

CONFIDENTIAL

第3回選舉物語

第74号

統制力なくした

佐藤・福田ライン

総裁選までに回復困難か

農業政策の変遷

農業政策の変遷

自由化促進論で対立

通産省の内部の敵は大蔵、外務省

通産省の内部の敵は大蔵、外務省

通産省の内部の敵は大蔵、外務省

通産省の内部の敵は大蔵、外務省

七億り反送

文化大革命への証言

(25)

本社編集局次長
高田富雄

省略された「文革」

劉主席かつぐデモ

「人民」になれぬ地主たち

昭和43年7月7日 日曜日

(7)



毛主席の肖像とともに、劉少奇や朱徳の肖像をかけて
西安市内で行進する少年先鋒隊（1933年3月25日撮影）

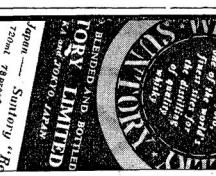
夏に強い「レッド」の実力
キリリと冷やして
お試しください。

誰か!!

安岡 明夫

大型合併への援護射撃

大蔵省 鉄鋼関係の関税引き下げ諮問



イヨッ! 赤いラベルのごあいさつ
大映 宇津井健

若者たる間で人気抜群のレッドは、水におぼれず水に強いウイスキー。カット照りつけてきたらロック、氷割り、ソーダ割り…お好みの方法でその実力をお試し下さい。何ものにもくすれないレッドのうまさは、サントリー原酒がその決め手!

サントリー
レッド Red
普通瓶 500円・ダブルサイズ 900円



